十二月九日(日) 16:30 開場 17:00 開演 会場:箕輪町松島コ ₹ ュ ニテ 1 セン タ 二階大広間

大人: 1800円 (折詰、缶ビール1本付き) 未成年者: 700円 (折詰、缶ジュース1本付き)

当日販売はありませんので

※入場チケット

商工会 Tel: 79-2117 (役場前の産業会館)

お早めにお求め下さい!

今亭 菊龍 (こ 三 「何時でも、何知 三 な語以外にも、 三 な名 三 なる 三 なる 三 なる 三 なる 三 なる こ なる こ なる こ なる こ でも、 こ と ひ名 こ でも、 こ と ひ名

、何処でもやります。決して出来ないなないも、司会・余興(獅子舞・玉すだれ)・講、はしご酒、折り紙、三味線、端唄・俗曲改名 昭和62年 真打昇進 得意ネタ 壷48年 古今亭圓菊に入門 前座名「菊次(ここんてい きくりゅう)

ち和

L 5

や3

医年者 _

持参金一ツ目昇進

Ę

てことは言

V

ません

古本亭

菊龍師匠に命名して戴いたもの。箕輪町下古田に在住。さん、おたかさん、楽四季さんと知合って懇意にして戴いの女将さんが始められた「酒屋寄席」の常連となり、落語高校、大学で落語研究会(落研)に所属。東京都中央区新本亭 龍角 (こほんてい りゅうかく)

がている。この芸々時を演じたことも。新川の今田商店(酒品

この芸名は、「商店(酒屋店)

菊の音

会に前次を

演師のか。匠小こ

の料

教室屋(きく

にでの

入おね

八門して端2を敷に出なったかこ

^{堀唄・俗曲を習い今に茶}田ていた端唄・俗曲の表し 通称 おたかさん)

でである。

数々の

発匠表に

会、は

演て

楽四季

詞場崎川

・横浜を中心に付えている。

も演にクエし クの

大歴動。どれ

さん けん 大 ・ ティ 主大、イ催正老ナ

催している。 正時代に流行 七人ホーム・A

つ商人

た唄を

下心 各種 発目

に関い自らに関することでは、

作会川

中の

辰ン現86 棚 野グ在00**久**

町在住、辰野町宮木のライブスティーン等の対訳も手がは、英語を教えるかたわら、畑年代初めに信州に戻り活動な年代米国留学中、ディランの(みうら ひさし)

ブけ畑をの ハてを断に

け

て8

続がけ

る年年

デ再京

イ開都で

IJ

でに代

0 V 9

歌

11

始

8 る。

IJ

ア

ツ

F

オ

町ス

、年年